

# 令和3年度事業報告

社会福祉法人 あせんぶるおーる

令和3年4月～令和4年3月

社会福祉法人あせんぶるおーるは、就労支援センターあっぷでーとして、就労移行支援事業および就労定着支援事業を実施しているところ  
です。各事業の内容について、下記の通りご報告いたします。

## 1. 就労移行支援事業（定員20名）

就労移行支援事業は、就労を希望する65歳未満の障害のある方に対して、生産活動や職場体験などの機会の提供を通じた就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練、就労に関する相談や支援を行うものです。就労支援センターあっぷでーでは、「必要な訓練」として、作業訓練、施設外就労、面談、学習会、ソーシャルスキルトレーニング、認知行動療法、感情コントロールの学習、職場見学、職場実習等を想定。さらに、養護学校等二年生在籍者に対し「進路の参考としていただくための就労アセスメント」また、今後就労を希望する方に対しての「就労アセスメント」の受け入れを行い、アセスメントはそれぞれの利用者の実態に合わせて柔軟な来所設定を行い、事前面談～今後の取り組みを提案する反省会までとなります。

実施状況	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訓練開所日数	前年度	22	22	22	23	21	22	23	21	23	23	20	23	265
	今年度	22	22	22	22	23	22	23	22	23	23	21	23	268
正式訓練生数	前年度	18	17	16	16	18	18	21	21	19	21	20	19	224
	今年度	18	18	17	17	16	16	16	16	16	16	15	15	196
アセスメント利用者数	前年度	2	5	9	8	7	8	7	6	5	2	3	4	66
	今年度	2	2	7	8	7	5	5	7	5	1	6	4	31

実施状況	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
正式+アセスメント延べ利用者数	前年度	355	356	372	537	334	391	402	353	365	359	310	344	4,478
	今年度	320	285	345	351	331	331	327	325	294	252	245	273	3,679
施設外（延べ人数）	前年度	41	26	44	50	37	51	56	32	39	37	32	53	498
	今年度	27	39	54	30	21	3	30	63	44	39	36	55	441
ソーシャルスキルトレーニング（延べ人数）	前年度	23	17	22	20	13	21	22	12	21	13	8	22	214
	今年度	31	22	25	26	17	29	38	23	26	12	0	0	249
面談（延べ人数）	前年度	25	34	40	6631	32	31	23	23	19	24	24	35	341
	今年度	22	12	16	16	12	15	33	25	28	25	23	21	248
学習会（延べ人数）	前年度	なし	なし	17	12	18	17	14	17	16	18	17	16	162
	今年度	14	16	17	15	なし	なし	14	13	13	11	14	10	137
グループワーク（回数）	前年度	17	13	19	18	15	12	23	26	14	15	10	7	189
	今年度	20	19	22	20	26	19	11	5	9	9	7	1	168
グループワーク（延べ人数）	前年度	49	41	47	50	48	41	28	32	15	16	16	7	390
	今年度	35	30	34	27	39	21	13	10	13	11	10	1	244

\*グループワークとは、「感情コントロールの学習（The Cat-kit）」「はしびろこうの会（集団認知行動療法）」「くまの会（お金について学ぶ）」「アローラの会（小集団での会話トレーニング）」の総称です。個別でCAT-kitや認知行動療法を行う方については、面談の中にカウントされています。

学習会の内容と、ソーシャルスキルトレーニングの内容は以下の通りです。①は主に認知機能の高い方、②は知的障害の方が中心です。

月	学習会	ソーシャルスキルトレーニング
令和3年4月	体育館で運動	①「お客様に声をかけられる」 ②「注意されたときの謝り方」 ①「相手の意見を引き出す（3人 Ver.）」 ②「意見を伝えたい時に「？」を使って伝える」

月	学習会	ソーシャルスキルトレーニング
令和3年5月	お金の使い方について	①「会話の終わり方(3人 Ver.)」 ②「ひとに物をくばる」 ①「『でも』を使わず意見を伝える」
〃 6月	竜王アウトレットでお買い物	②「質問・報告のタイミングについて」 ①「忙しくしているときの返答の仕方」 ②「2つ以上頼まれごとをしたとき」
〃 7月	琵琶湖博物館へ行こう	①「イライラしている上司に報告する」 ②「適切な話しかけ方」 ①「程よい褒め方」
〃 8月	なし	②「話している内容を聞いて会話に入る」 ①「人に教える」
〃 9月	新型コロナウイルス感染拡大により中止	②「さわやかに会話を終えて挨拶する」 ①「ストレス状況から離れる」 ②「人の失敗を見つけた時の伝え方」
〃 10月	「からだと心を作る毎日ご飯」	①「お客様当番のやりかた(オーダー編)」 ②「親切に対して感謝を伝える」 ①「お客様当番のやりかた(配膳編)」 ②「お客様当番のやりかた」
〃 11月	「竹生島にお出かけ」	①「実習初日のあいさつ」 ②「適切な距離をとって話す」 ①「自分のやり方でやってみても良いか相談する」
〃 12月	「食事のマナー講座と黒壁散策」	②「遅刻したときに謝罪する」 ①「欠勤・遅刻をしたときに連絡を入れる」

		②「印象の良い相槌・返事」
令和4年1月	「OBに仕事の話聞こう」	①「メモを取るタイミングを相談する」 ②「道を譲り合うときの態度」
〃 2月	「SNSの使い方/交通安全について」	新型コロナウイルス感染拡大のため実施せず
〃 3月	「イチゴ狩り」	新型コロナウイルス感染拡大のため実施せず

\*2月、3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、密になるSSTは中止しています。また、学習会については感染防止対策をとった上で実施致しました。

利用率は以下の通りです。正式訓練生は施設外利用者を含んでいます。

	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
正式のみ	前年度	81%	73.5%	69.5%	66%	73%	76.5%	82%	78.5%	71.5%	78.5%	77.5%	71.5%	70.5%
	今年度	75.0%	68.5%	74.0%	69.0%	69.0%	69.5%	66.0%	67.5%	62.0%	64.5%	62.5%	65.0%	67.7%
	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
アセスメント含む	前年度	81%	81%	85%	78%	80%	89%	87.5%	84.5%	79.5%	78.5%	77.5%	75%	81.4%
	今年度	79.0%	71.5%	88.5%	85.0%	75.0%	79.5%	72.0%	78.0%	69.0%	66.5%	74.5%	75.5%	76.2%

\*利用者数が減った事で、正式訓練生の利用率は伸び悩みました。アセスメントの利用者も新型コロナウイルスの影響もあり、「外に出る活動」を控える状態となりました。

実施状況	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アセスメント事前面談（件数）	前年度	1	4	5	2	5	4	3	3	2	2	1	2	34
	今年度	0	3	6	5	2	4	3	5	3	1	7	2	41
アセスメント反省会（件数）	前年度	1	1	3	6	3	4	4	3	4	1	3	0	33
	今年度	1	1	2	7	5	4	3	5	4	1	2	5	40
ケース会議開催（件数）	前年度	8	3	9	6	6	6	7	6	10	4	5	8	78
	今年度	7	6	5	5	5	7	8	13	8	9	5	11	89

アセスメント実施時に成育歴から現在までの状況を家族から聞き取ることで、障害特性をおおよそ把握し、効果的な訓練を目指します。またどのような個別支援計画を策定し、どの程度変化があるか家族や関係機関、本人に知っていただくことで家庭での視点や声掛け等が変わります。入所時に関わってくださった機関の皆様にもできるだけ状況を知っていただけるように4ヵ月に一度のケース会議等を実施しています。

#### 職場開拓・実習・就労の状況

実施状況	比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ハローワーク訪問 事業所見学	前年度	2				3	1	4		1	3		2	16
	今年度	2		2	1			2	3	4	4	4	4	26
実習（人数）	前年度							1			1		3	5
	今年度	1							1		2	2	3	9
実習支援（延べ日数）	前年度							9			4		17	30
	今年度	5							8		19	14	9	55
就 職 者	前年度	3	1							1			1	6
	今年度	1		1	1		1				1		2	7

\*令和3年度の報酬改定により、これまでの施設外就労加算がなくなり、支援計画会議実施加算が加算されることになりました。また新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和元年度/令和2年度または平成30年/令和元年度の2年間の実績で報酬が算定されています。

利用者の増加はありませんが、令和3年3月からは雇用率が2.3%に引き上げられたこともあり、企業の障害者雇用に関しての意欲は高く就職者は昨年よりも増えています。但し、訓練の成果が上がっている方、さらに作業内容が本人に適しているかどうか、企業理解が得られるかを検討するため職場があるからと言って安易に勧めることはしていません。また、職場で障害のある方に適した仕事はないか選定して欲しいというお話を頂き、職場を訪問し想定した利用者を念頭に作業分析などを行うこともあり、事業所見学・ハローワーク訪問が増えています。

## 2. 就労定着支援事業

就労定着支援事業は、平成 30 年 4 月から新たに国が定めた制度です。これまで就労移行支援事業所の定着支援の義務は 6 か月と定まっていたが、あっぷでーとでは、6 か月以降も適宜、職場訪問や面談等を行っており、以前と変わらぬ定着支援を行うために就労定着支援事業を実施してきました。これまでは就労移行支援事業所が就職させた人数に対して、1 年目、2 年目、3 年目とそれぞれ定着した人数に対して基本単価に加算が上乘せされていましたが、個別契約の事業として新たに事業所を認可し、契約した方毎の個別給付となりました。

実施状況	比較	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約者数	前年度	19	19	19	18	20	19	23	23	23	23	23	23	252
	今年度	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	20	239
職場訪問 (無料期間含む)	前年度	24	32	14	21	22	20	22	22	24	23	24	21	269
	今年度	42	54	29	23	19	19	16	20	18	21	19	24	304
面談実施 (回数)	前年度	19	23	25	28	23	13	16	17	14	11	20	14	223
	今年度	16	16	16	21	15	16	17	16	10	14	14	12	183
OB会延べ参加者 (777)	前年度		中止			中止		中止			中止		中止	通年中止
	今年度		中止			中止		中止			中止		中止	通年中止

就労定着支援事業に定員の概念はありませんが、人員配置や単価を考えると利用者数の平均 20 名が最大受け入れ可能人数となります。職場訪問は基本的に月に 1 回程度行いますが、昨年同様、新型コロナウイルスの感染状況により訪問できる時、できない時があり、事業所毎に確認が必要となりました。また、令和 3 年度から報酬改定があり、就労定着率 9 割 5 分以上/3,449 単位、9 割以上 9 割 5 分未満/3,285 単位、8 割以上 9 割未満/2,710 単位、7 割以上 8 割未満/2,176 単位、5 割以上 7 割未満/1,642 単位、3 割以上 5 割未満/1,395 単位となりました。あっぷでーとの定着率は 93%ですので、3,285 単位となります。さらに、定着一年目の利用者に加算されていた「企業連携等調整特別加算(240 単位)」が廃止され、契約している利用者の方の定着のための会議を行った際に「定着支援連携促進加算(579 単位)/年 4 回まで」が加算されることとなりました。これまでからも支援の内容は記録し保存しておりますが、支給要件については「就労支援レポート」を作成し、本人や関係機関と共有することを要件とされました。

### 3. ジョブコーチ支援事業（訪問型職場適応援助者事業）

令和4年1月に高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施している、訪問型職場適応援助者事業の助成金受給資格認定申請書を提出し、資格認定を頂きました。今後、就労定着支援事業の契約を行うまでの間、滋賀障害者職業センターに承認頂いた「訪問型職場適応援助者支援計画書」を元にして職場訪問を実施します。トライアル雇用が実施出来ない事業所や、家庭環境、本人の障害状況、また事業所（会社）の作業習得状況によって本人・事業所の希望を元を実施することにしております。

開始年月	支援対象者	支援事業所所在地
令和4年2月	F.Nさん	彦根市

### 4. 職員配置

それぞれの事業に関する職員配置は以下の通りになります。就労定着支援事業に関しては定員という考え方はなく、契約者数に対して人員の配置基準を満たすことが必要です。

就労移行支援事業 (定員20名)	管理者	サービス管理 責任者	生活支援員	職業指導員	就労支援員	就労定着支援事業	管理者	サービス管理 責任者	就労定着 支援員
常勤(常勤換算)	1	1	3(1.81)	3(2.03)	1(0.79)	常勤(常勤換算)	1	1	4(0.56)
非常勤(常勤換算)			1(0.12)			非常勤(常勤換算)			

報酬算定上の必要人員は管理者・サービス管理責任者を除き、1.93人

## 5. 研修や会議の参加

2年という限られた期間の訓練で効果的に職業準備訓練が実践できるように、職員の資質向上に努めています。より深く障害特性を知る研修や技術習得のための研修、一般的な就労支援の知識を得る研修等に参加致しました。また、自立支援協議会が開催する会議等に参加しています。

### 1. 研修

月	研修名	参加人数
令和3年4月	感情コントロール The CAT-kit 指導法基礎 (1) セミナー	1
令和3年5月	ブリーフな産業メンタルヘルス実践(基本編)	1
〃 6月	えにし滋賀の福祉人研修(社会福祉共通) 中堅期×3日	1
〃 7月	認知行動療法・ソーシャルストーリーコミック会話を活用した支援(湖北会いぶきやま所内研修)	2
	湖北圏域障害福祉サービス事業所「若手職員向け21連続講座」/消費者トラブルとその対応	1
〃 8月	ノウハウ移転「働きたい」って相談が！～聞き取りの時に大切にしていること～	1
	湖北圏域障害福祉サービス事業所「若手職員向け21連続講座」～職場の人間関係～	1
〃 9月	令和3年度 第1回知的障害者等支援にかかる研修会「知的障害を持ちながら生きる(暮らす)」	2
	令和3年度 第1回サポート研修「発達障害特性と精神障害が併存する人の就労支援のために」	1
	知っておくべき労働法「判例に学ぶパワハラ対応とメンタル対応～休職から復職まで～」	1
	アクセプタンス研修(Acceptance&Commitment Therapy/Training)	1
	職場のハラスメント研修	1
	社内のできる簡易型認知行動療法	2
	脳機能モデルによるアセスメントと支援研修～模擬事例の検討～	4
	アセスメント手法研修	1
	構造化のアイディア	1



	ゲートキーパー養成講座「みんなでゲートキーパー研修」	1
令和3年10月	第2回 職場適応援助者養成研修	1
	みなし研修「感情や不安との付き合い方」	2
	湖北圏域障害福祉サービス事業所若手職員向け連続講座(講師)	1
	湖北圏域で行動障害のある人への支援について考える研修	1
令和3年11月	第2回 知的障害者等支援にかかる研修会	2
	ジョブコーチサポート研修	1
	第2回 ノウハウ移転	1
	再認識しよう！意思決定支援の重要性	7
	普通救命講習	1
	地域共生社会フォーラム(第16回米原市社会福祉大会)	1
〃 12月	OJT 推進リーダー研修	1
	障害福祉分野における「対人支援のための記録入門研修」	1
	子どもの成長のために大人ができること~誤解への気づきから~	1
	多職種・他機関連携研修 共生型サービスの理解	1
	滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会	1
	湖北圏域障害福祉サービス事業所若手職員向け連続講座	2
	発達障害の理解~アセスメント編~	1
令和4年度1月	機能の高い発達障害者の方への支援	1
	OJT 推進リーダー研修	1
	湖北圏域障害福祉サービス事業所若手職員向け連続講座	1
	2021年度 職場適応援助者養成研修	1
〃 2月	R3年度第3回職場適応援助者養成研修修了者サポート研修	1
	滋賀県公認心理士会第1回保健医療領域グループ オンライン交流会	1

	OJT 推進リーダー研修	1
	「睡眠教育と生活リズム~眠れない苦しみに認知行動療法のアプローチ~」	3
	心理職が知っておきたい教養 精神科治療薬の話	1
	2021 年度 職場適応援助者養成研修	1
〃 3月	自閉症支援者養成研修ワークショップ 3DAYS	1
	お金の管理とトラブルの話	1
	甲種防火管理新規講習	1
	PCD 作成・見直しのポイント	1
	国及び地方公共団体向け障害者職業生活相談員資格認定講習に係る研修（講師）	1
	湖北圏域で行動障害のある人への支援について考える研修	1
	2021 年度 職場適応援助者養成研修	1

## 2. 会議等の参加

月	会議名
令和3年4月	SO 会議
〃 5月	第一回ジョブスター会議 養護学校アセスメント会議
〃 6月	JC 支援事業促進協議会 湖北地域しょうがい者支援事業所協議会 長浜市発達支援室会議
〃 8月	湖北地域しょうがい者支援事業所協議会定例会議

	ジョブスター会議
〃 10月	SO ウェブ会議 湖北地域しょうがい者支援事業所協議会 定例会議
〃 12月	ジョブスター会議 湖北地域しょうがい者支援事業所協議会 定例会議 ジョブスター会議 定着支援プロジェクト
令和4年2月	湖北地域しょうがい者支援事業所協議会 定例会議 ジョブスター会議
〃 3月	自立支援協議会全体会議